

新型コロナウイルス感染症の現状等について

1 文京区の現状

(1) 陽性者数及びPCR検査数 (令和4年1月31日時点)

	令和3年					令和4年	合計	
	8月	9月	10月	11月	12月	1月		
陽性者数	1,177	454	44	5	26	4,167	5,873	(人)
PCR検査数	1,010	381	89	18	299	1,176	2,973	(件)

(2) 療養の状況 (令和4年2月2日 21時時点)

入院	宿泊療養	自宅療養	
143	283	2,375	(人)

2 PCR検査体制

(1) 行政検査等

新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる区民等を対象に、区内の診療・検査医療機関、文京保健所PCR検査センター等により引き続き実施している。また、各施設の判断により、発生時検査等も実施している。

(2) PCR等検査無料化事業

都は、令和3年12月25日(土)より、感染リスクが高い環境にあるなど、感染不安を感じる無症状の都民等を対象にPCR等検査の無料化事業を実施している。

令和4年2月14日(月)、区の働きかけにより、文京区内薬局2店舗に加え、東京ドームシティ内に新たな検査場が開設された。

(3) 濃厚接触者への抗原定性検査キットの配布事業

都は、令和4年2月8日(火)より、濃厚接触者の都民を対象に検査キット配布事業を実施している。

3 文京区版保健・医療提供体制確保計画に基づく体制

(1) フェーズの移行

フェーズ	移行の主な目安	開始時期	終了時期	主な対応
1 通常	-	-	1月6日(木)	課対応
2 感染拡大期	発生届 32件以上	1月7日(金)	1月16日(日)	部対応
3 感染最大期	発生届 106件以上	1月17日(月)	(継続中)	全庁対応

(2) 健康観察・診療等の体制

ア 診療等医療提供の体制

- 診療は区内の診療・検査医療機関で実施。診断医は HER-SYS（新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム）等で速やかに発生届を保健所に報告
- 患者は、医療機関に加え、都が設置している入院待機ステーション、酸素・医療ステーション、感染拡大時療養施設、宿泊療養施設で対応する。
- 変異株（オミクロン株）の急速な感染急拡大に伴い、令和4年1月28日付通知によって国及び都は、医師が軽症と判断した療養者については、自宅で待機しながら療養者自身が健康観察を行うよう切り替えた。これを受け、区は【別紙】の通り、リスクに応じた患者対応を行っている。

イ 自宅療養者の支援（区独自）

- 患者自身が血中酸素飽和度を定期的に確認出来るよう、発生届の受理後、パルスオキシメーターを配送
- 酸素・医療ステーション等を利用できない場合に備え、酸素濃縮器を患者自宅に配送する体制を整備
- 食料が不足する申し出のあった区民に、災害用非常食の配送（置き配）を実施。また、自宅療養等により外出が困難な区民を対象に、区内商店による宅配事業を再開

(3) 保健所等の体制確保

ア 積極的疫学調査

1月17日(月)より、急速な感染拡大が生じていることを踏まえて、患者に対しては濃厚接触者への連絡、また、企業等団体に対しては濃厚接触者の自主検査や健康観察を依頼している。

なお、保育園、幼稚園、小中学校、高等学校、医療機関、高齢者施設、障害者施設等の施設、陽性者が多数発生している事業者への調査は継続している。

イ 職員応援体制

発生届受理時の基本情報聴き取り等、保健師業務の支援のため全庁的な臨時流動体制をとり、以下の通り増員を図っている。

臨時流動期間	勤務形態 A	勤務形態 B
1月17日(月)～1月30日(日)	15名	15名
1月31日(月)～3月16日(水) (予定)	32名 (最大)	32名 (最大)

※勤務形態 A（平日・土日 8:30～17:15）

勤務形態 B（平日 16:15～21:15、土日 12:30～21:15）

また、8階保健衛生部の執務スペースの密集状態を解消するため、別途会議室を確保し、業務に当たっている。

4 その他

自宅療養者等に向けて適切に情報提供を行うため、適宜ホームページの見直しを行っている。